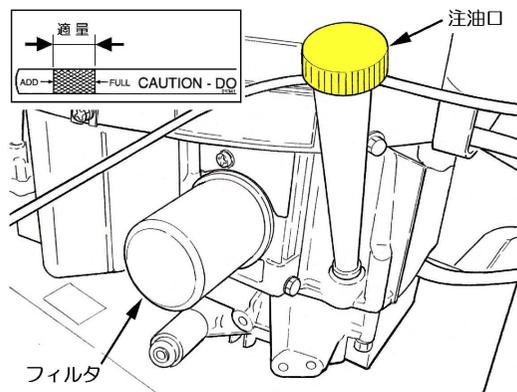
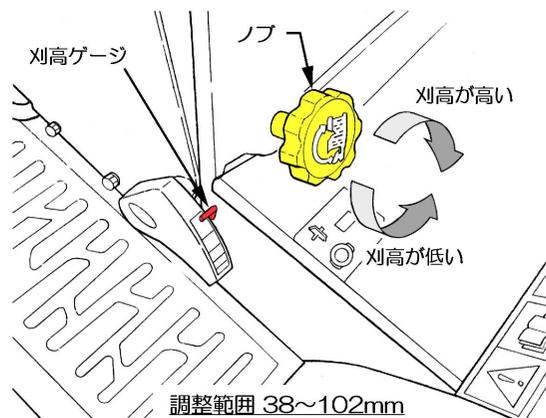


① エンジンオイルの点検/フィルタ交換

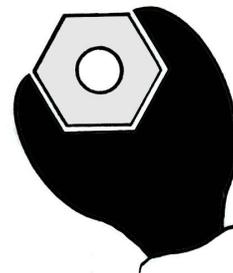


- ・ 始業前点検
- ・ 25 時間毎でオイル交換 (1.5L)
- ・ 50 時間毎でフィルタ交換 (1.5L+0.2L)

② 刈高さ調整



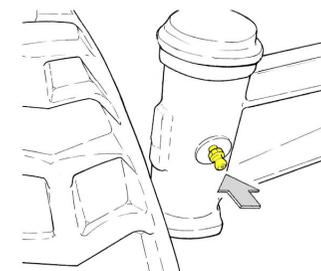
③ 各部の弛み点検



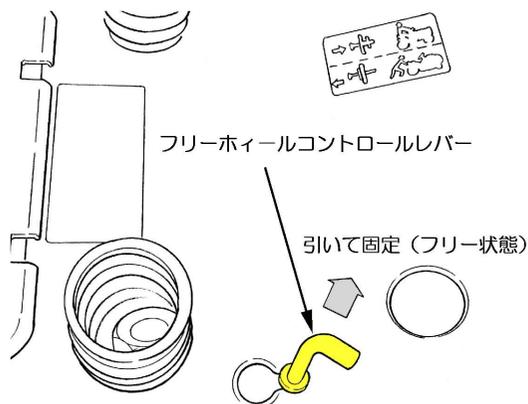
⑤ グリースアップ

- ・ 作業日数 **10日ごと** と実施する

- ・ キングピン部
【左右各×1箇所】

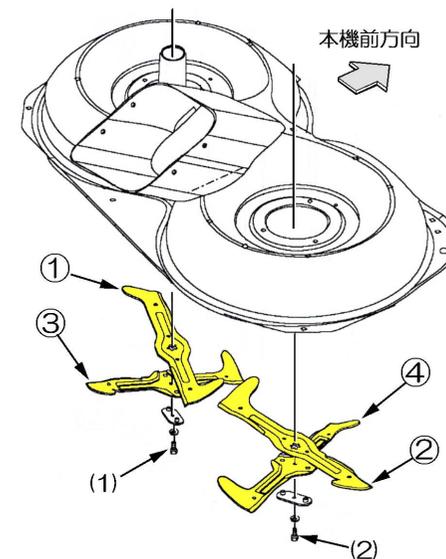


④ フリーホールコントロールレバー (緊急時の移動などで使用)



⑥ ブレード (刈刃) の点検・交換

- ・ 切れ味が悪くなった場合は研ぐ
- ・ バランスをとるために4枚同時に実施



ブレード/ボルトの部品コード

①	E57170192	ブレード:3-1LH	5 星穴付
②	E57170193	ブレード:3-1RH	6 星穴付
③	E57170188	ブレード:LH107	
④	E57170189	ブレード:RH107	
(1)	E57170206	ボルト	右ねじ
(2)	E57170207	ボルト	左ねじ



操作手順

①アタッチメントクラッチスイッチを『切り』にする (ボタンを押す)



②動作コントロールレバーを『中立』にする



③チョークを引く (冷態時のみ)



④イグニッションキーを『START』にしてエンジンがスタートしたら『ON』位置に戻す【暖機運転をする】



⑤カッティングユニット昇降レバーを前方に移動して下げる



⑥アタッチメントクラッチスイッチを『接続』にする (つまみを引く)

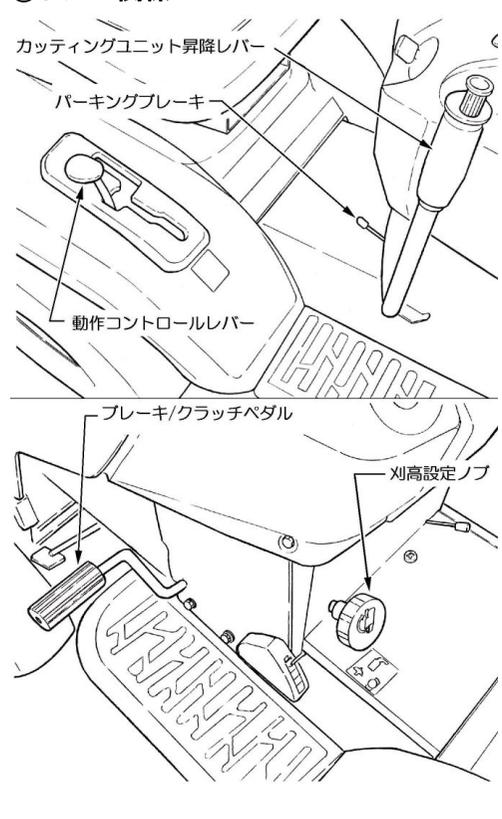


⑦動作コントロールレバーを刈り具合に合せ速度を上げる (無段階調整式)

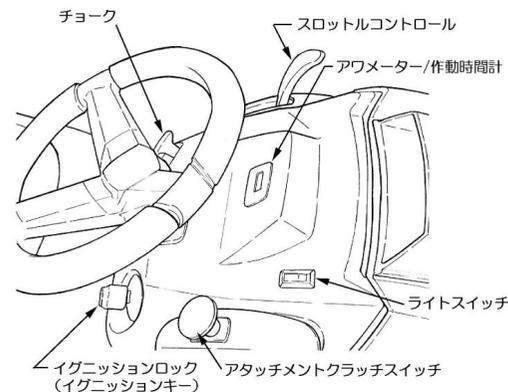
《リバース動作システム(ROS)》

- ・イグニッションキーを『ROS』位置にすると後退時にも芝刈装置が作動します。また、アタッチメントクラッチが接続された状態でトラクタを後退させようとするとエンジンは停止しますが故障ではない。通常は『ON』位置で使用します。

①レバー関係

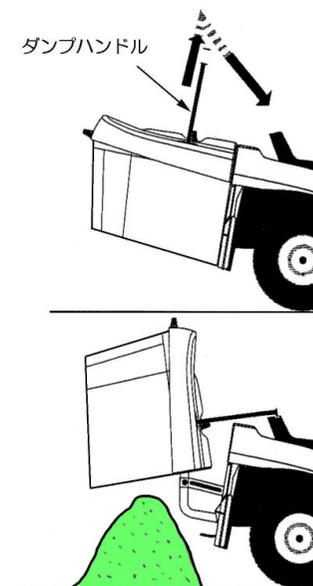


②操作パネル



③集草バックの操作

- 1.トラクタを芝の廃棄する場所に移動する。
- 2.動作コントロールレバーを『N』にして、駐車ブレーキをかける。
- 3.ダンプハンドルを一番上まで持ち上げて、ハンドルを前方に引き、芝を放出する。
- 4.レバーを後方に戻し、正しい位置に戻す。



注意

1. 走行の前に、前方5m・左右後方3m以内に人がいないことを確認してください【突進事故や石の飛散防止】
2. エンジンの停止方法を理解してからエンジン走行をしてください【緊急時の事故防止】
3. 移動時の高速走行では衝撃を与える作業は避けてください【トラクタ・作業機破損防止】
4. エンジン運転中やエンジン温度が高いときは燃料補給はしないでください【火災防止】
5. 5度以上の傾斜地では使用しないでください【転倒防止】